

目標7

「(仮称)茅ヶ崎市生物多様性地域戦略」を平成24年度(2012年度)までに策定し、地域の生物多様性を保全していきます。

目標8

生物多様性の保全・再生のためのガイドラインを平成24年度(2012年度)までに作成し、市民・事業者等への周知を図っていきます。

【目標担当課: 景観みどり課】

■目標7の進捗状況

未策定

■目標8の進捗状況

未策定

生物多様性とは？

3つのレベルの多様性があります。

①生態系の多様性(たくさんの種類の自然環境があること)



谷戸地形(樹林など)

海

河川

草地

細流

②種の多様性(たくさんの種類の生きものがいること)



ニホンアマガエル

シオヤトンボ

ヤマカガシ

トゲナナフシ

モズ

カマツカ

③遺伝子の多様性(たくさんの個性があること)



メダカ



ゲンジボタル

同じ種であっても遺伝子は違います。

遺伝子が多様にあることで、環境の変化や病気の蔓延などによる絶滅の可能性が低くなります。

メダカなどの淡水魚は本来、生息する川の水系で遺伝子が異なります(例:小田原メダカ(酒匂川水系)、藤沢メダカ(境川水系))。また、ゲンジボタルは関東では4秒間隔で発光し、関西では2秒間隔で発光します。

重点施策19 生物多様性の現況調査と「(仮称)茅ヶ崎市生物多様性地域戦略」の策定
20 生物多様性の保全・再生のためのガイドラインの作成

■概要

- ・「(仮称)茅ヶ崎市生物多様性地域戦略」を策定し、協働によって推進します。策定にあたっては、自然環境評価調査の結果を基礎データとした現況調査を市民参加により実施し、本市における生物多様性の現況や人との関わりの状況、取り組みの現状等を把握します。
- ・公園や住宅地、街路樹等を含めた市内のみどりの保全・再生や、土地改変等の際に生物多様性に配慮した環境整備を促すためのガイドラインを作成します。
- ・定期的にモニタリング調査を実施し、適宜内容の見直しを図ります。

■平成27年度の取り組み

①「(仮称)茅ヶ崎市生物多様性地域戦略」の策定と協働による推進

事業名	取り組み結果	担当課
「(仮称)茅ヶ崎市生物多様性地域戦略」の策定およびガイドラインの作成	・自然環境評価調査の内容(平成28年度中間とりまとめ、29年度とりまとめ)を考慮して具体的な検討を行います。なお、平成28年度から見直しに着手するみどりの基本計画についても、生物多様性地域戦略を意識した検討を行います。	景観みどり課

②市民参加による自然環境評価調査の実施と、本市における生物多様性の現況等の把握

事業名	取り組み結果	担当課
自然環境評価調査	・重点施策1をご参照ください。	景観みどり課
自然環境評価調査員養成講座	・重点施策1をご参照ください。	
市職員によるモニタリング調査	・7つのコア地域や32カ所の保存樹林のモニタリング調査を実施し、各地の状況を把握しています。	

■平成27年度予算執行状況

事業名	27年度予算額	27年度決算額	(参考)26年度決算額	担当課
自然環境評価調査(再掲)	2,500千円	2,376千円	0千円	景観みどり課
自然環境評価調査員養成事業(再掲)	80千円	30千円	80千円	
合計	2,580千円	2,406千円	80千円	

■成果・課題と評価

成果	評価
<p>・生物多様性地域戦略策定の基礎データとなる自然環境評価調査に着手しました。第1回の調査から約10年での指標種や準絶滅危惧種等の生息・生育状況を踏まえた検討を行います。自然環境評価調査については、新たな調査員もスムーズに調査にご参加いただけるよう引き続き支援します。</p>	<p>E</p> <p>A:極めて順調に進んでいる B:おおむね順調に進んでいる C:ある程度進んでいる D:あまり進んでいない E:積極的な取り組みが必要 -:取り組みなし(評価不能)</p>
<p>・「(仮称)茅ヶ崎市生物多様性地域戦略」の策定および生物多様性に係るガイドラインの作成については、自然環境評価調査の結果を考慮し、平成30年度に予定しているみどりの基本計画の改訂を踏まえ実施することから、今後、他市の事例等を調査するなど準備を進めておく必要があります。</p>	